

TRIOLE 自律運用基盤

2008年7月更新

概要

近年、システムを構成するノード数は急速に増大し、企業合併などによる業務統合も活発化しています。また、ネット系サービスではアクセス集中による急激な負荷変動での安定稼働も求められています。こうしたシステムの複雑化や状況の変化への対応のために運用管理のコストが大きな負担となっていますが、運用管理は人間でないとできない高度な判断機能が必要であり、案件ごとに顧客の要件も多様で、人手に頼らざるを得ません。

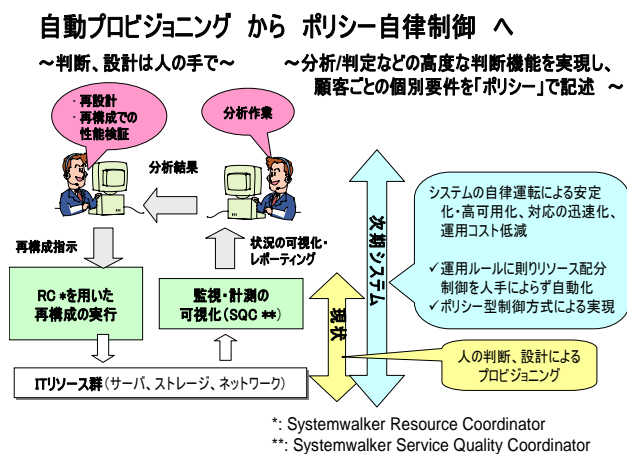
この問題に対して、TRIOLEでは「ポリシー自律運用(システムの方針(ポリシー)を示すと、システムが自律的に状況を判断して適切な処置を行う)」を提供し、人手をかけることなく、すばやくミスのない運用管理を実現します。

技術のポイント

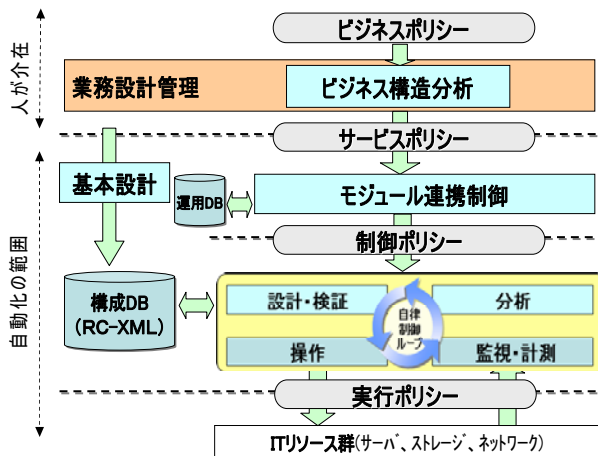
- ・ ビジネスレベルからノードレベルまでの統一アーキテクチャによって、一貫性、拡張性を実現
- ・ ITリソースのプロビジョニングにとどまらず、サービスレベルの維持といった高いレベルまでをカバー
- ・ 人間が行っている高度な判断(たくさんの情報から傾向を見つける、など)を代行する機能
- ・ 運用ノウハウなど明確化されていない情報を形式化して追加することによって、段階的に機能が成長する

適用例

- ・ 負荷変動に対して、与えられた基準を満足するように自動的にシステム構成を変化
- ・ パッチ適用など代表的な運用管理作業のパターンを蓄積し、自動的に作業を実行



TRIOLE 仮想・自律機能



自律制御アーキテクチャー(ポリシー型制御方式)